

Doc No. 18-180-I-311 Rev.0

2021年6月1日

トランスニュークリア株式会社

使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明申請（TK-26型）

2021年4月28日の面談時質問に対する回答  
（臨界防止設計関連）

本資料のうち、枠囲いの内容は、商業機密等に属しますので公開できません。

番号	ページ	対象	コメント内容
3	—	—	キャスク胴内への冠水時にバスケット格子内のみ水で満たされ、中空部が水で満たされないことがないことを説明すること。

(回答) 以下の内容を補足説明資料 1-1 別紙 6 として追記する。

バスケット格子材には排水時に水が円滑に抜けること、及び冠水時に中空部に水が円滑に浸入することを目的として、中空部を構成する部分に十分な大きさ及び数の水抜き孔を、さらに、バスケット最下段にも開口部を設けている(図 3-1 参照)。また、バスケット格子材の両端部は開口しており(図 3-2 参照)、排水時及び冠水時に水は両端部からも中空部に入出入りする。

以上の設計による対応に加え、冠水時の注水流量は作業手順書に従い  $5\text{m}^3/\text{h}$  以下に管理されるため、冠水時に中空部に空気が残ることはない。



図 3-1 バスケット格子材の水抜き穴及び開口部

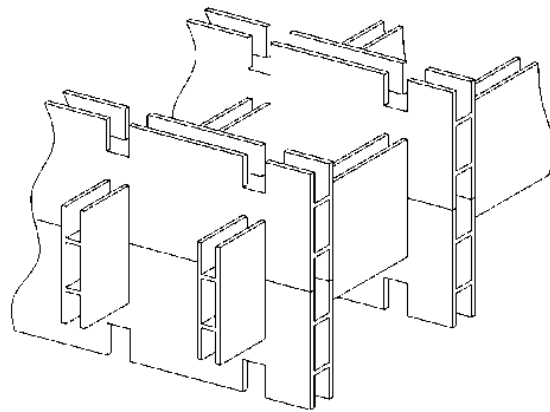


図 3-2 バスケット格子材の端部開口部